

**ASEAN 人材育成奨学パートナーズ支援 (AHEAD50)**  
**ASEAN 事務局 ASEAN 統合モニタリング部貿易・産業・新興課題分析・監視課職員**  
**招へいの記録（短期招へい第 3 陣）**

## 1. プログラム概要

### 【目的・概要】

ASEAN 事務局 ASEAN 統合モニタリング部貿易・産業・新興課題分析・監視課の幹部職員 4 名が、2025 年 11 月 16 日から 11 月 22 日の間、日本の先進的な産業エコシステム、最先端のイノベーション創出の取り組み、そしてグローバルな経済変動に対処してきた経験を学ぶために訪日しました。本プログラムを通じて、ASEAN 諸国間の協力とイノベーションを強化し、新技術や社会課題への対応を通じて地域の経済成長、競争力、及び持続可能性の向上に繋がることが期待されます。

### 【AHEAD50】

**AHEAD50** (ASEAN Human Educational Development Scholarship Partners) は、日本 ASEAN 友好協力 50 周年を契機に開始した招へい事業。ASEAN 事務局等の有望な職員に対し、日本の政策・制度・立場等につき学ぶ機会を提供し、人材育成を通じて ASEAN 事務局の強化を図るとともに、日本との円滑な協力を促進することを目的としている。

### 【参加者】

ASEAN 統合モニタリング部 貿易・産業・新興課題分析・監視課 (Analysis & Monitoring on Trade, Industry & Emerging Issues Division (AMTIED), ASEAN Integration Monitoring Directorate) の幹部職員 4 名  
(部長 1 名、課長級 1 名、上級職員 1 名、職員 1 名)

### 【訪問地】東京都、京都府

### 【日程】

#### ■ 招へいプログラム :

11 月 16 日（日曜日） 成田国際空港より入国

#### 【ブリーフィング】

11 月 17 日（月曜日） 【講義】「イノベーション政策の方向性について」

講師：経済産業省 イノベーション・環境局総務課国際室 渡部 博樹 室長

#### 【視察】エイブリック株式会社（半導体製造企業）工場見学

ビジネスパートナーユニット 総務安全グループ マネージャー 福田 幾夫 氏

11 月 18 日（火曜日） 【視察】HAL 東京 学内視察

日本教育財団 企画本部 豊田 洋平 部長

・先進的な教育界と産業界の連携・エコシステム、最先端分野におけるイノベーション創出に資する教育システム

東京都から京都府へ移動

【講義】「未来社会像の提示と構想力の醸成について」

講師：京都工芸繊維大学

副学長／未来デザイン・工学機構 機構長 電気電子工学系

山下 兼一 教授

未来デザイン・工学機構 副機構長

水野 大二郎 教授

未来デザイン・工学機構 KYOTO Design Lab [D-lab] ラボ長

ビライ・エルワイン 教授

デザイン・建築学系 ロンドン芸術ダブルディグリーコース コース長

照井 亮 准教授

デザイン・建築学系 ロンドン芸術ダブルディグリーコース

バルナ・ゲルゲイ・ペーター 特任准教授

11月19日（水曜日） 【講義】「日本における創造的破壊の企業事例、起業に対する政策支援、イノベーションの最新動向」

講師：立命館大学大学院（大阪いばらきキャンパス）

テクノロジー・マネジメント研究科 研究科長 湊 宣明 教授

テクノロジー・マネジメント研究科 黄 巍准教授

【文化体験】茶道体験（弦庵）

【視察】比叡山延暦寺

11月20日（木曜日） 京都府から東京都へ移動

【講義】「ASEAN 加盟国が金融統合やデジタル技術などの新分野における持続可能性やレジリエンスの課題に対する実践的な対処を促す、政策研究や能力開発を通じた支援活動」

講師：アジア開発銀行駐日代表事務所研究所（Asian Development Bank Institute）

バンバン・プロジェクトネゴロ 所長 CEO

研究部 研究部長代理／シニア リサーチ フェロー

ラフート・ディル・バハドゥール 氏

人材育成部 スペシャリスト

ポンポプ（ベン）・メタクラワット 氏

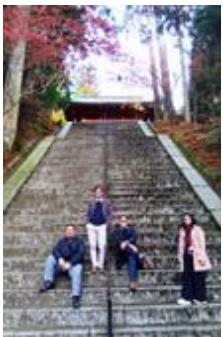
11月21日（金曜日） 【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

11月22日（土曜日） 成田国際空港より出国

## 2. 記録写真

### 招へいプログラム

	
11月17日【講義】経済産業省	11月17日【視察】エイブリック株式会社
	
11月18日【視察】HAL 東京 学内視察	11月18日【講義】京都工芸繊維大学
	
11月19日【講義】立命館大学大学院 テクノロジー・マネジメント研究科	11月19日【文化体験】茶道体験（弦庵）
 	
11月19日【視察】比叡山延暦寺	11月20日【講義】アジア開発銀行駐日代表事務所研究所（Asian Development Bank Institute）

### 3. 参加者の感想（抜粋）

- ・議論の質が非常に高く、セッション時間がより長ければ、さらに有益な機会になったと思います。
- ・とても詳細なプレゼンテーションでした。近い将来、是非ともつくばの施設を訪問させていただきたく、その機会を楽しみにしております。
- ・日本、ASEAN、そしてその先にとって極めて重要な戦略的セクターにおける産業界のプレイヤーとの、素晴らしい有益な議論でした。視察も同様に興味深く、半導体がどのように活用されているかを直接見学でき、大変有意義でした。
- ・エイブリック株式会社による目覚ましい成果と、質の高いプレゼンテーションに深く感銘を受けました。
- ・職業訓練校が関連産業と強固に連携し、業界のニーズに基づいた技能や人材を育成している現状は、非常に興味深いものでした。
- ・限られた時間の中で多くの取り組みを知ることができましたが、さらに時間があれば、より深く学ぶ機会が広がったと思います。
- ・各教授陣による全てのプレゼンテーションは、非常に洞察に満ちたものでした。
- ・京都工芸繊維大学 未来デザイン・工学機構は、デザインから生分解性素材の開発、さらには歴史的文化的重要品の価値向上に至るまで、多岐にわたる興味深いプロジェクトを手がけており、いずれも非常に示唆に富んでいました。

### 4. 報道記事等

 <p>ASEAN事務局の職員らが訪問されました</p> <p>2025年11月16日、ASEAN事務局の職員4名と一緒に一緒に財團法人日本国際協力センター（JICE）の職員2名からなる合計6人が本学を訪問し、半導体未来デザイン・工学機構などの取り組みについてお聞きしました。このたびの訪問は、「ASEAN（ASEAN八ヶ島政策研究会（チーナーズ会議））」のプログラムとして行われたものです。</p> <p>訪問では、山下一実（未来デザイン・工学機構副所長）、水野大樹（未来デザイン・工学機構副所長）、Envin Viny KYOTO Design Lab所長からは未来デザイン・工学機構及び傘下のラボ・センターの取り組みが紹介されました。最後に、鶴井亮（デザイン・創造学部准教授）とPamee Gopay（Pamee Gopay教授からランコン京都大学とのダブル・ディグリー・プログラムでの取り組みが紹介されました）。</p> <p>また、豊就恵、吉宇で開催中の「JapTech Seminar 2025」を確認し、本学の研究及び教育活動に高い関心を寄せられていきました。</p> <p>記録撮影の様子</p> <p>記録撮影の様子</p> <p>このページに関する問い合わせ先 経営企画課 TEL: 075-724-7016 E-mail: kohs@kit.ac.jp (お問い合わせください)</p>	 <p>ASEAN事務局の職員らが訪問されました</p> <p>2025年11月16日、ASEAN事務局の職員4名と一緒に一緒に財團法人日本国際協力センター（JICE）の職員2名からなる合計6人が本学を訪問し、半導体未来デザイン・工学機構などの取り組みについてお聞きしました。このたびの訪問は、「ASEAN（ASEAN八ヶ島政策研究会（チーナーズ会議））」のプログラムとして行われたものです。</p> <p>訪問では、山下一実（未来デザイン・工学機構副所長）、水野大樹（未来デザイン・工学機構副所長）、Envin Viny KYOTO Design Lab所長からは未来デザイン・工学機構及び傘下のラボ・センターの取り組みが紹介されました。最後に、鶴井亮（デザイン・創造学部准教授）とPamee Gopay（Pamee Gopay教授からランコン京都大学とのダブル・ディグリー・プログラムでの取り組みが紹介されました）。</p> <p>また、豊就恵、吉宇で開催中の「JapTech Seminar 2025」を確認し、本学の研究及び教育活動に高い関心を寄せられていきました。</p> <p>記録撮影の様子</p> <p>記録撮影の様子</p> <p>このページに関する問い合わせ先 経営企画課 TEL: 075-724-7016 E-mail: kohs@kit.ac.jp (お問い合わせください)</p>	<p>2025年11月25日（国立大学法人 京都工芸繊維大学のウェブサイト）</p> <p>「ASEAN 事務局の職員らが訪問されました」</p>	<p>2025年11月21日(弦庵(茶道体験)の Instagram)</p> <p>「先日は日本国際協力センターの御一行がお見えになりました。インドネシア出身、マレーシア出身、職員の方々です。」</p>
---	--	---	--

## 6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

The slide is titled "Training Report" and features the ASEAN flag icon. It is dated 15-22 November 2025, Japan. The slide is divided into three main sections: "Key Takeaways" and "Action Plans".

**Key Takeaways:**

- Urgent governments' policy decisions and support in setting the framework to promote and drive business innovation and national competitiveness.
- The government's visibility and commitment in innovation policy is effectively aligned with stakeholder needs.
- Value stakeholders' commitment to evidence-based innovation.
- Academic sectors' interest and readiness to adopt HAL generated by academic institutions in ensuring meaningful and measurable outcomes.

**Action Plans:**

- AEC Strategic Plan 2026-2030:**
  - To assist AEC to implement its 20-year strategic plan, including the promotion of innovation and entrepreneurship, particularly in ASEAN countries, through various cross-sectorial cooperation and knowledge exchange.
- Alignment with ASEAN Innovation Framework:**
  - Aligning with the AEC's innovation framework to facilitate the implementation of the AEC's 20-year strategic plan.
- Alignment with ASEAN Researcher's Principles:**
  - Aligning with the policy of the 10-year research plan of the AEC's Research and Development Directorate (AMTIED) to strengthen its capacity with institutional and international focus on industrial cooperation, setting the research agenda, and encouraging the exchange of knowledge and experience between the two entities.

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）